

10.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・前年の熊本地震で減少した外国人観光客の戻りと、前年4～6月に苦戦した衣料品も本年は順調に推移している。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・売上については4月から3か月連続で前年実績を上回っており、婦人服も化粧品も4～6月は前年実績を上回った。また雑貨も前年を上回っており、特に化粧品が良い。外国人観光客も今月は161%と伸びており、売上増加につながっている。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・梅雨入りし、雨が降る中でも観光客が来ている。団体バスもまとめて40台、来町することもある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・中国船の寄港が数回あり、外国人観光客の落としていったお金で景気が持ち直した。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量が少し増えている。来店客の購買意欲が感じられる。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が増加しており、平日、土日祝共に来客数が好調に推移した。また購入単価・売上伸長率も改善している。さらに、カード新規入会が好調で推移した。大型旅客船の来航で外国人観光客の来店も増加した。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・前年の6月に比べると当然良くなっているが、一昨年に比べるとまだまだである。客の様子からは買い安心感も見られ、全体的に大きな負の要因は回避されており、消費は少し落ちてきた。今月は外国人観光客も戻っており、前年比で50%増くらいになる。
		百貨店（営業統括）	来客数の動き	・来客数は直近1年間で減少傾向だったが、6月に入り天候が良かったこともあり、前年比増に転じた。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・梅雨ではあるが、雨が少なく、雨による販売減が抑えられている。暑い日が続く6月にしては季節商材の動きが良い。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・気温上昇に伴い、飲料、アイスクリームの売上が飛躍的に伸び、前年比で15%伸びている。天候による変化が大きい。
		衣料品専門店（店員）	単価の動き	・シークレットセールで、セール品よりも定価商品が売れている。安いものより、本当に欲しいものを求める客が多い。
		衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・定価での売上は改善されなかったが、セールになると若干売上が改善した。これを回復とみるのか、後退とみるのか分からない。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新型車効果で、新車販売台数が堅調に推移している。今月上旬に宣伝費用をかなりかけて新型車の催事を実施した。目標以上の実績が確保できた。
		その他小売の動向を把握できる者【土産卸売】（従業員）	販売量の動き	・前年は熊本地震の影響で売上が減少したが、今年は一昨年並みに戻っている。
		その他小売の動向を把握できる者【ショッピングセンター】（統括者）	販売量の動き	・前年は熊本地震の影響があったが、今年はその反動もあり、よく売れている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宴会・宿泊・レストランのどの部署も売上・予約状況とも目標金額・前年比をクリアしている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は梅雨にもかかわらず雨が少なく、利用客数の減少が懸念されたが、ほぼ毎日入港する大型旅客船の外国人観光客が大幅に伸びており、また催事も充実しており、タクシー利用客数も当地は増加している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ドラマの影響で、新しい案件が出てきている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数はやや増加しているが、購入単価が下がっている。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数は季節によって変動するが、当地は外国人観光客が多く、来客数は減少してないが売上にはつながっていない。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・空梅雨でそれなりに来客がある。	

百貨店（店舗事業計画部）	お客様の様子	・外国人観光客による購買が好調で、以前に比べ混雑する売場や時間帯の偏りも少なくなった。国内の客は季節の動きに敏感な傾向は変わらないが、梅雨前半の好天で日よけ対策商材、梅雨が本格化してからは、降雨商材とバランスよく手にとっている。
百貨店（業務担当）	お客様の様子	・客は以前に比べて、必要なもの以外は前もって買わない。新商品を動めても必要がなければ興味を示さない。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・熊本地震後、様々な形での事業体の業績が見えてきた。客も動き始めた。
スーパー（店長）	来客数の動き	・客の買物動向として、競合各店が持つ強みである特売日を選び分けて買う行動パターンは以前にも増して強くなっている。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・ディスカウントストアなど競合店の出店で価格競争が激化する中、客の低価格志向は根強いものがあり、来客数前年割れの状況が続いている。来客数の減少を購入点数や客単価で若干補っているが、総じて前年割れとなっている。
スーパー（統括者）	来客数の動き	・来客数は、前年比で落込んでいるが前月比では横ばいである。特売の広告を入れないと売上維持も難しく、不要不急なものは安くても購入しない。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・客と世間話をしていても良い話が聞こえてこない。厳しい状況である。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・今春は天候に恵まれ、来店客数が常に多かった。
コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・梅雨に入り、晴れると来客数が伸びるが、雨だと伸び悩み、例年並みに落ち込む。このまま晴天が続くと前月をクリアできるが天候次第である。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来街者が少なく来店客数も少ない。
住関連専門店（経営者）	それ以外	・前年同月の売上は悪かったが、今月はそこそこである。ただし新規事業部門は良くない。同業者も変わらない。
その他専門店 【コーヒー豆】 （経営者）	来客数の動き	・前年比で来客数はほぼ同じであるが、客単価が上がっているため売上が増えている。
その他専門店 【ガソリンスタンド】（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格は前月比でやや下げの傾向である。今月の燃料油の販売量の見込みは、前年並みを予想している。ボーナスが支給されている客があり、支給額は前年並みだったらしい。
ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・おおむね堅調な販売実績であり、この数か月は安定している。
その他小売の動向を把握できる者 【ショッピングセンター】 （支配人）	お客様の様子	・来客数、購入状況から、悪い印象は受けないものの、景気が上向きと判断するには材料が乏しい。客は買物にきているというよりは、休日を過ごしにきている。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・6月は例年になく忙しかった。団体が入ったり入らなかつたりもしたが、かなり良い結果に終わった。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・比較的、単価の低いランチタイムは安定しているが、高単価になるディナーの来客数が少ない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年比で来客数は増えたが、熊本地震の影響を考慮すると決して増えてはならず、景気が良いということではない。
観光型ホテル（専務）	来客数の動き	・予約が直前にならないと入らないので、先が読めない。
都市型ホテル（販売担当）	お客様の様子	・良い傾向がなかなか見えない。宴席も閑散期に突入する。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・外国人観光客数は相変わらず好調だが、消費単価は伸び悩んでいる。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外でのテロ事件、朝鮮半島情勢の不透明感が続いている。国内旅行では関西のテーマパークが人気で、海外旅行ではハワイ、シンガポール、台湾が変わらず人気がある。
タクシー運転手	お客様の様子	・昼の利用が少なく、夜になると天候に関係なく客が増えた。
ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・来客に対してプレー料金の設定を少し変えて入場者数を増やす努力をしたが、売店やレストランの売上がなかなか伸びず、客単価も上がらない。一層の見直しが必要である。

美容室（経営者）	販売量の動き	・あまり変わらないのが現状である。売上も横ばいが続き、変化はない。例年売上は、春に増えて夏に向けて減ってくるが、それもなく、平坦である。
その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	単価の動き	・平成29年度は同30年4月から本格導入される総合事業の移行期であることに伴い、一部の客で単価減が発生しており、売上高及び単価にも影響を与えている。
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・低価格で案件を受注している。
商店街（代表者）	お客様の様子	・欲しい商品でも、安い商品でも、購買に大変慎重である。
一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・梅雨の影響がかなり大きい。客層が高齢者のため、雨による来客数の激減は影響が大きい。夏に向けて地元の野菜が少なく県外ものになるため単価が上がり、余計に拍車をかけている。
一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・鮮魚小売の話聞いても、皆声をそろえて売れないと言う。前月からアニサキスの話が繰り返し報道されて以来、売上が悪く、刺身物が全く売れないらしい。小売が売れないと仲卸も売れない。
一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・熊本地震のため全壊判定の建物の中で営業していたが、ようやく順番が回ってきて先日解体した。店舗はなくなったが隣の敷地で小規模営業している。再建までは来客数は激減する。
一般小売店〔茶〕（販売・事務）	販売量の動き	・日に日に暑さが増し、同時に売上は減少している。客層は高齢者が多く、売上が天候に左右されることも多い。ペットボトル茶の売上は年々増加している。
百貨店（総務担当）	販売量の動き	・紳士衣料品の動きが鈍く、水着、浴衣などの季節商材の売上も伸びないため、全体の勢いが感じられない。企業のボーナス支給も始まっており、来客数は前年超過だが、購入客数は大幅減である。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・大きな傾向はなく、低調で、競合も増えた。
スーパー（店長）	それ以外	・経費削減のため、チラシの回数を減らした。すると客数の減少から販売量も減少した。客が増えないと上向きにならない。
スーパー（店長）	単価の動き	・前年は熊本地震により競合店が3店舗閉店していたが、現在は前年比で82%くらいである。鮮魚の風評被害で刺身の売上が前年比で72%くらいまで落ちている。精肉は少し調子が良いが、熊本地震後に閉店していた競合店3店が開店したので数字的には厳しい状況である。
スーパー（店長）	単価の動き	・前年比で売上は厳しい状況が続いている。来客数はそこまで落ちていないが、客単価が落ちている。野菜も相場が安いため、全体的に売上が厳しい。
家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・例年需要が落ち込む時期だが、今年は特に来客数が伸びない。梅雨入りしても中途半端な天候が続き、季節物でさえ動きが鈍い。
家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・天候による要因が大きいですが、季節商材のエアコンの動きが悪く、前年を下回っている。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・来客数が減少し、値引き競争が激化しているため、販売環境が悪くなっている。
その他専門店〔書籍〕（副店長）	販売量の動き	・隣接するビルの解体工事が始まり、地下街が封鎖され、地階フロアの来客数が落ち込んでいる。
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・空梅雨で野菜が値上がりしている上に、急に大雨になるなど人の出足が非常に悪くなっている。
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・前年の2～3月に比べると日、月、火曜日の客数が減っている。
タクシー運転手	来客数の動き	・歓楽街がかなり閑散としている。地元の大手造船メーカーの影響だが、別の新たな企業が出てくるわけでもないので大変困っている。
美容室（経営者）	それ以外	・地震の影響でビルを解体することになった。借店舗として入っていたので出なければならぬが次の店がまだできていない。
美容室（店長）	来客数の動き	・特に今月は来客数も減っており、売上に影響し、今後の見通しが悪い。
音楽教室（管理担当）	来客数の動き	・働く母親が増えて、需要が減ってきている。

	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・前月から来客数が伸びず、契約に至っていない。インターネット広告を行っているが、客の購買意欲が低いので売行きが悪い。
x	商店街(代表者)	来客数の動き	・6月に入って急激に来客数が減少した。周辺の業者や飲食店も同様である。周辺に同業者などができたわけでもなく、今までにない急激な減少であった。
x	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・客の動きが鈍い。
x	家電量販店(店員)	販売量の動き	・ここしばらく悪い状態が続いたが、更にもう一段悪くなった。
企業 動向 関連 (九州)	*	*	*
	農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年、梅雨時期は消費が伸びないが、今年は梅雨入りが遅く、天候が良かったため、スーパーマーケット、居酒屋の動きが前年より好調である。6月後半はさすがに動きが弱くなった。鶏肉の輸入状況もブラジルの食肉不正で量が減っており、国内生産も鳥インフルエンザの影響があり、元に戻るのに少し時間が掛かりそうである。相場は供給不足で高値水準である。
	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・年度が変わり、今年度の計画が発表され、前期の終わりよりも動きが良い。
	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・機械加工部門の受注量が微増している。また、設備製作の部門では納期のない特急の依頼があり受注量が増えた。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・半導体製造装置、特に洗浄系の装置の引き合いは引き続き好調である。
	電気機械器具製造業(取締役)	取引先の様子	・板金部門の引き合いが多い。同業他社も同様である。
	建設業(社員)	競争相手の様子	・官公庁の発注も多くなり、やっと選べる工事が増えたと話す業者もいる。今の時期が1年で一番発注が多い。
	輸送業(総務担当)	取引先の様子	・運送会社より一斉に値上げ要請がきている。労働者の環境を改善したいという理由が多く、今後この動きは続く。労働者の賃金が上がれば消費も活性化し、景気が上向く。
	金融業(従業員)	取引先の様子	・百貨店の売上が回復傾向にあるほか、分譲マンションの販売も増加傾向にある。また、新車販売やファーストフード店の売上也比較的好調である。
	経営コンサルタント(社員)	受注価格や販売価格の動き	・ビールの価格が低価格から適正価格になった。業界はしっかりと改正を守っている。客も今までどおり購入している。影響はなかった。
	農林水産業(従業員)	受注価格や販売価格の動き	・今春は例年と比べて30%販売単価が低かった。5月は物が市場にあふれるため、一般的に市況は安く、景気は変わらない。今後、冬春物が終了すると市況は多少上がる。
	家具製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・今月の家庭用家具売上は3か月前比で約20%減であるが、季節指数のデータを当てはめると良くも悪くもない状況である。コントラクト市場は6月は前年同月比で横並びである。6月以降のコントラクト向け家具の見積依頼は前年比130%以上で、2~3年先の物件も増えている。
	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・通常の量販店、小売店、百貨店はやや減少しているが、3年前からインターネットでの販売をしており、売上は少ないが、いくらか伸びている。
	その他製造業 [産業廃物処理業]	取引先の様子	・今後の展開についての話はあったものの、まだ具体的に動いてはいない。
	輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・今夏はスーパー猛暑と言われており、今月は飲料品が非常に活発に動いている。そのため景気は現状を維持している。
	金融業(従業員)	取引先の様子	・これといった景気が良くなる要因が見当たらない。期待感はあるが消費や受注はまだ動いていない。
	金融業(営業)	取引先の様子	・製造業は中国景気の後退による低迷を脱しつつあり、受注は一定量確保している。一部には設備投資もみられるが、人材の確保など容易ではない。東京オリンピックや被災地復興需要にモノ・カネが集中しており、現状程度の景気が続く。
	金融業(営業担当)	取引先の様子	・中小企業、全業種、全般的に受注量に対する人手の不足が慢性化しており、満足に収益の出る仕事を受けることができず、景気は変わっていない。
	経営コンサルタント(社員)	受注量や販売量の動き	・今月初めに有料セミナーを実施した。前年と同様の動きかけを行ったが、参加者は少なかった。

	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先と情報交換したが特に大きな変化はない。	
	その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	競争相手の様子	・市町村が発注する調査や計画、設計の業務については、高齢者や障がい者などに関する調査や計画策定の業務に関して、今年度予算が多く確保されていたが、受注する業者に偏りが生じており、中小規模の事業所の受注が難しい状況にある。設計などの業務についても減少傾向で、景気が悪くなっている。	
	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・2017年3月決算の財務資料を受領し始めたが、前年と同程度の損益推移の企業が多い。数億円の設備投資先もあるが、リースを活用した税の繰り延べ需要など、節税を意識した会社も多い。	
	農林水産業（営業）	受注量や販売量の動き	・季節要因もあるが、減少傾向にある。	
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節商材が中心で売上が少なくなる時期である。しかし予測の範囲内である。	
	繊維工業（営業担当）	取引先の様子	・運賃の値上がりが悪影響をもたらしている。物流や倉庫の見直しもしていかなければならない。外国人研修生も、言葉や、筆談が割とできていた中国人から、東南アジア諸国に変わってきたのも難しい問題である。	
	x	-	-	
雇用 関連 (九州)	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・新規訪問すると、工場や事務所の改装や新設をしている製造業の企業が多い。新規で人材を募集している企業もあるが、比較的短時間の求人で人気があり、自社で見つけている。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	採用者数の動き	・地元大学のインターンシップ生を受け入れているが、就職活動中の学生の動向を見る限り、各企業とも人手不足で採用者数も多い。特に金融機関などの採用は活発である。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業からの派遣求人依頼は引き続き堅調である。特にサービス業の求人数が増加している。平均時給も上がっている。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・中心市街地への人出は相変わらず多く、新規店のほか既存店にも好影響をもたらされている。一方で、郊外店も熊本地震の影響から復活し、来客数が多くなっている。	
	職業安定所（所長）	求職者数の動き	・雇用保険の失業給付の手続きを行う求職者が減少している。	
	職業安定所（職員）	それ以外	・有効求人倍率が高水準で推移しているが、これは求職者の減少によるもので景気が良くなったからではない。また、事業所訪問をしても賃金改善を実施している事業所がない。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・条件の良いところがあれば現在の勤務先から転職したいという相談を受ける割合が増えてきている。また、ゴールデンウィークまでは求人を出しても反応がなかったが、ゴールデンウィーク後は少しずつ問い合わせを受けようになったという企業の話聞く。熊本地震から1年以上たち、今まで動けなかった層も動き出した。	
	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・前年比で依頼は増加しているが、3か月前と比較すると変化はない。	
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・求人数が横ばいの状態である。	
	学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・新卒採用に向けた求人票の受理件数は、若干増加しつつある。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・生命保険会社などの金融系バックオフィスの派遣依頼は、断続的に入ってきているが、事務系の依頼は少ない。	
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者の動きも鈍く、企業からの求人依頼も登録できそうな案件が少ない。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・7月に同業大手のフリーペーパー求人誌が廃刊になる。主な理由はインターネット求人の強化だが、フリーペーパー事業そのものの収益性の悪化が背景にある。また、同業他社の求人取扱件数も軒並み減少している。	
	x	-	-	-